

2. 情報システム工学専攻の学修・研究の進め方

2.1. 研究指導計画（情報システム工学専攻）

2.1.1. 博士前期課程

第1～2年次に「数理情報システム」、「情報処理システム」、「情報伝達・制御システム」の3分野の選択授業科目、及び選択共通科目を履修する。また、各セメスターで、「情報システム特別演習」と「情報システム特別研究」の必修研究指導科目を履修し、指導教員の指導の下で研究を段階的に深化させ、学位論文の作成を行う。授業の履修、及び研究の進め方を入学時のオリエンテーションで説明する。

1年次の最後に「研究企画書」の提出と発表会を行い、指導教員以外の教員からの指導を行うとともに院生同士でも議論し、院生の主体的な研究活動を支援する。学位論文の審査は、主査の指導教員と副査2名の体制で行う。

※9月入学者のスケジュールは半期スライドする。

1年次	4月	<ul style="list-style-type: none"> 入学時オリエンテーションにおいて、履修・研究についての説明、指導教員と研究指導計画を定める 履修について指導教員による指導が行われ、履修登録をする
	4月～7月	<ul style="list-style-type: none"> 講義科目の履修 研究指導科目「特別演習Ⅰ・特別研究Ⅰ」の履修
	9月	<ul style="list-style-type: none"> 履修について指導教員による指導が行われ、履修登録をする
	9月～1月	<ul style="list-style-type: none"> 講義科目の履修 研究指導科目「特別演習Ⅱ・特別研究Ⅱ」の履修
	2月	<ul style="list-style-type: none"> 指導教員の許可を得た上で、「研究企画書」を提出し、研究の進行状況および今後の予定について報告を行い、指導教員や研究科の他の教員からのアドバイスをもらう
2年次	4月	<ul style="list-style-type: none"> 履修について指導教員による指導が行われ、履修登録をする
	4月～7月	<ul style="list-style-type: none"> 講義科目の履修 研究指導科目「特別演習Ⅲ・特別研究Ⅲ」の履修
	9月	<ul style="list-style-type: none"> 履修について指導教員による指導が行われ、履修登録をする
	9月～1月	<ul style="list-style-type: none"> 講義科目の履修 研究指導科目「特別演習Ⅳ・特別研究Ⅳ」の履修
	12月	<ul style="list-style-type: none"> 学位論文を審査する副査委員の選出 副査委員は、学生との面談で質問を受け適宜助言を行う
	1月	<ul style="list-style-type: none"> 学位論文提出 論文審査及び最終試験（口述試験）の実施
	3月	<ul style="list-style-type: none"> 学位授与

2.1.2. 博士後期課程

第1～3年次の各 Semester で「情報システム特別演習」と「情報システム特別研究」の必修研究指導科目を履修し、指導教員の指導の下で研究を段階的に深化させ、学位論文の作成を行う。授業の履修・研究の進め方を入学時のオリエンテーションで説明する。学位論文完成に至るまで、主たる指導は指導教員が行う。学位論文審査には予備審査を設け、主査の指導教員と2名以上の副査を中心に本審査に進むことの可否の審査を行う。また、予備審査の一環として博士論文説明会を開催し、主査・副査以外の教員による指導も行う。博士学位論文の最終審査は主査の指導教員と2名の副査の体制で行う。

※9月入学者のスケジュールは半期スライドする。

1年次	4月	<ul style="list-style-type: none"> 入学時オリエンテーションにおいて、履修・研究についての説明、指導教員と研究指導計画を定める 履修について指導教員による指導が行われ、履修登録をする
	4月～7月	<ul style="list-style-type: none"> 研究指導科目「特別演習V・特別研究V」の履修
	9月	<ul style="list-style-type: none"> 履修について指導教員による指導が行われ、履修登録をする
	9月～1月	<ul style="list-style-type: none"> 研究指導科目「特別演習VI・特別研究VI」の履修
2年次	4月	<ul style="list-style-type: none"> 履修について指導教員による指導が行われ、履修登録をする
	4月～7月	<ul style="list-style-type: none"> 研究指導科目「特別演習VII・特別研究VII」の履修
	9月	<ul style="list-style-type: none"> 履修について指導教員による指導が行われ、履修登録をする
	9月～1月	<ul style="list-style-type: none"> 研究指導科目「特別演習VIII・特別研究VIII」の履修
3年次	4月	<ul style="list-style-type: none"> 履修について指導教員による指導が行われ、履修登録をする
	4月～7月	<ul style="list-style-type: none"> 研究指導科目「特別演習IX・特別研究IX」の履修
	9月	<ul style="list-style-type: none"> 履修について指導教員による指導が行われ、履修登録をする 予備審査論文の提出
	9月～1月	<ul style="list-style-type: none"> 研究指導科目「特別演習X・特別研究X」の履修
	10月～11月	<ul style="list-style-type: none"> 研究科委員会による論文受理決定後、審査委員会によって論文審査及び本審査への可否が実施される
	1月	<ul style="list-style-type: none"> 学位請求論文の提出
	1月～2月	<ul style="list-style-type: none"> 研究科委員会による論文受理決定後、審査委員会によって論文審査及び最終審査が実施される
	3月	<ul style="list-style-type: none"> 学位授与

2.2. 学位論文審査基準（情報システム工学専攻）

2.2.1. 修士論文

修士論文は、申請者が主体的に取り組んだ研究の成果であり、独創的で、かつ情報システム工学あるいは関連分野の基盤または応用の発展に寄与するものでなければならない。審査は以下の項目について、学位論文の内容及び修士論文発表会での発表をもとに行われる。

- ・ 研究の背景と目的が、関連論文を引用しながら適切に述べられていること。
- ・ 研究の独創性が十分に説明されていること。
- ・ 研究の方法が十分に説明されていること。
- ・ 研究成果の評価が適切かつ十分に行われ、それらに対する考察が展開されていること。
- ・ 論文が論理的に構成されており、表記・表現が適切かつ明瞭であること。
- ・ 学位論文の口頭発表が適切に行われ、質疑に対する応答が十分であること。

評価項目ごとに達成度を以下の表のように点数化し、合計点を算出する。主査1名、副査2名の合計点の平均値が 70点以上 になった場合、合格とする。

達成度	点数
5	20
4	18
3	16
2	14
1	10

○ 評価項目1

- ・ 研究の背景と目的が、関連論文を引用しながら適切に述べられていること。

達成度	評価内容
5	研究の背景と目的が、極めて明瞭かつ適切に述べられている
4	研究の背景と目的が、明瞭かつ適切に述べられている
3	研究の背景と目的が、適切に述べられている
2	研究の背景と目的が、概ね適切に述べられている
1	研究の背景と目的に、妥当性がなく、不明瞭である

○ 評価項目2

- ・ 研究の独創性が十分に説明されていること。

達成度	評価内容
5	研究の独創性が、極めて正確かつ適切に説明されている
4	研究の独創性が、正確かつ適切に説明されている
3	研究の独創性が、適切に説明されている
2	研究の独創性が、概ね適切に説明されている
1	研究の独創性の説明に、不十分または不明瞭な部分が多い

○ 評価項目3

- ・ 研究の方法が十分に説明されていること。

達成度	評価内容
5	研究方法が、極めて正確かつ適切に説明されている
4	研究方法が、正確かつ適切に説明されている
3	研究方法が、適切に説明されている
2	研究方法が、概ね適切に説明されている
1	研究方法の説明に、不十分または不明瞭な部分が多い

○ 評価項目 4

- 研究成果の評価が適切かつ十分に行われ、それらに対する考察が展開されていること。

達成度	評価内容
5	研究の評価と考察が、極めて適切かつ十分に展開されている
4	研究の評価と考察が、適切かつ十分に展開されている
3	研究の評価と考察が、適切に行われている
2	研究の評価と考察が、概ね適切に行われている
1	研究の評価と考察のかなりの部分が、不十分または不適切である

○ 評価項目 5

- 論文が論理的に構成されており、表記・表現が適切かつ明瞭であること。

達成度	評価内容
5	論文は極めて論理的に構成されており、表記・表現も適切かつ明瞭である
4	論文は論理的に構成されており、表記・表現も適切かつ明瞭である
3	論文は論理的に構成されており、表記・表現は適切である
2	論文は概ね論理的に構成されており、表記・表現はほぼ適切である
1	論文構成に論理性が欠如しており、表記・表現のかなりの部分が不明瞭である

2.2.2. 博士論文

博士論文は、申請者が主体的に取り組んだ独創的、かつ情報システム工学あるいは関連分野の基盤または応用の発展に寄与するもので、査読制度のある学術誌へ掲載されるなど、学術的に評価された内容を含んでいなければならない。審査は以下の項目について、学位論文の内容及び論文公聴会での発表をもとに行われる。

- 研究の背景と目的が、関連論文を引用しながら適切に述べられていること。
- 研究の新規性、独創性、重要性、および波及性が十分に説明されていること。
- 研究の方法が十分に説明されていること。
- 研究成果の評価が適切かつ十分に行われ、それらに対する考察が展開されていること。
- 論文が論理的に構成されており、表記・表現が適切かつ明瞭であること。
- 学位論文の口頭発表が適切に行われ、質疑に対する応答が十分であること。

評価項目ごとに達成度を以下の表のように点数化し、合計点を算出する。主査1名、副査2名の合計点の平均値が 70点以上 になった場合、合格とする。

達成度	点数
5	20
4	18
3	16
2	14
1	10

○ 評価項目 1

- 研究の背景と目的が、関連論文を引用しながら適切に述べられていること。

達成度	評価内容
5	研究の背景と目的が、極めて正確かつ適切に述べられている
4	研究の背景と目的が、正確かつ適切に述べられている
3	研究の背景と目的が、適切に述べられている
2	研究の背景と目的が、概ね適切に述べられている
1	研究の背景と目的に、妥当性がなく、不明瞭である

○ 評価項目 2

- ・ 研究の新規性、独創性、重要性、および波及性が十分に説明されていること。

達成度	評価内容
5	研究の新規性、独創性、重要性、及び波及性が、極めて正確かつ適切に説明されている
4	研究の新規性、独創性、重要性、及び波及性が、正確かつ適切に説明されている
3	研究の新規性、独創性、重要性、及び波及性が、適切に説明されている
2	研究の新規性、独創性、重要性、及び波及性が、概ね適切に説明されている
1	研究の新規性、独創性、重要性、及び波及性の説明に、不十分または不明瞭な部分が多い

○ 評価項目 3

- ・ 研究の方法が十分に説明されていること。

達成度	評価内容
5	研究方法が、極めて正確かつ適切に説明されている
4	研究方法が、正確かつ適切に説明されている
3	研究方法が、適切に説明されている
2	研究方法が、概ね適切に説明されている
1	研究方法の説明に、不十分または不明瞭な部分が多い

○ 評価項目 4

- ・ 研究成果の評価が適切かつ十分に行われ、それらに対する考察が展開されていること。

達成度	評価内容
5	研究の評価と考察が、極めて適切かつ十分に展開されている
4	研究の評価と考察が、適切かつ十分に展開されている
3	研究の評価と考察が、適切に行われている
2	研究の評価と考察が、概ね適切に行われている
1	研究の評価と考察のかなりの部分が、不十分または不適切である

○ 評価項目 5

- ・ 論文が論理的に構成されており、表記・表現が適切かつ明瞭であること。

達成度	評価内容
5	論文は極めて論理的に構成されており、表記・表現も適切かつ明瞭である
4	論文は論理的に構成されており、表記・表現も適切かつ明瞭である
3	論文は論理的に構成されており、表記・表現は適切である
2	論文は概ね論理的に構成されており、表記・表現はほぼ適切である
1	論文構成に論理性が欠如しており、表記・表現のかなりの部分が不明瞭である